

【町立病院】 病院事業会計予算

医師確保対策経費

○松野委員 はい。6番、松野美哉子でございます。まず、様々な病院事業の中で医師確保対策について多大な御苦勞をいただいておりますことを感謝いたします。さて、主要施策251番の病院事業会計についての質問をいたします。他会計からの補助金として、町立病院事業費に第8条、一般会計からこの会計へ補助金を受ける金額は次のとおりと定めるとあります。合計金額が12億78万7,000円となっており、その約3分の1にあたる、3億8,671万9,000円が医師確保対策経費の補助分となっております。その内訳について教えてください。

○経理係長 はい。病院経理係長の猿谷と申します。ただいまの松野委員の御質問にお答えいたします。医師確保対策経費の内訳でございますが、予算書で言いますと25ページを御覧ください。まず給与費のうち、非常勤医師報酬の一部の経費をこちらの経費に充てております。また、さらに予算書26ページに進んできいただきまして、3目経費のうち、4非常勤医師旅費、また27ページにいきまして、14番賃借料のうち宿泊料、その下、営業車使用料、さらに19番手数料のうち一部の経費を派遣される医師が所属する法人への手数料など、これらの経費を繰入れ経費として算入しているところでございます。また、正職員、会計年度任用職員の給与のうち、当院と同規模である病院の全国平均値と比較しまして高くなっている部分についても、繰入れ経費として算入しているところでございます。金額につきましては、他の繰入れ項目で算入されている部分を控除した金額となっておりますので、口頭での説明は難しいところではございますが、御理解いただきたいと思います。以上です。

非常勤医師に係る経費

○江口委員 8番、江口智子でございます。同じく事業会計について質問させていただきますが、その前に本年の病院事業会計の一般会計からの繰り出しが、コロナ等の様々な補助金が打ち切られていた中で12億に抑えられる予算ということで、本当に多大な努力をしていたに感謝を申し上げます。その上で、今の松野委員の質問にもありました、予算書26ページ経費のうち、4番の非常勤医師の旅費、同じく14番の営業車使用料、合わせて8,000万程度が非常勤の医師の旅費に使う旅費というか交通費、移動費ですね、に使われる予算計上とされております。これまでも、同一の大学から医療機関から派遣されてくる医師が、2曜日連続してくるようなときには同じ医師にいていただいて、1日ずつ入れ替えるようなことがないように出来ないんですかということ、恐らく所管の厚生の委員会でも指摘があった部分かと思いますが、先日、眼科に受診した際に、ずーっと名前を見てみますと、本当に連続した曜日で1日たりとも同じ医者の名前がないというような状況で、病院のホームページを見ますと、同じように非常勤医師で多くの診療科で非常勤医師で成り立っているという部分がございます。現状において、この出張医に対するなるべく経費をかけないような努力というのは、どのような面においてなされているのか、その努力項目について教えてください。

○経理係長 経理係長の猿谷と申します。ただいまの御質問にお答えいたします。例えばでございますが、診療日数が同じ場合であったとしても、日帰りでの来院よりは1泊2日の方が、さらに泊数が伸びた方が旅費等の合計の経費がかからないといった事情がありまして、それらのことは派遣元の医局との交渉を続けており、泊数を増やしてみようという事は出来ない

かというような交渉はしているところではございますが、大学の医局側も当院以外にも複数の派遣先を抱えているというような事情もあり、また派遣元の病院でも診療に当たる、研究に当たるというような事情がありますので、なかなか早急に解消することは出来ないところではありますが、そのような交渉は続けており、これからも続けていく所存でございます。以上です。

○江口委員 はい。8番、江口智子でございます。やはり派遣元に対して、なかなか強くお願いすることは出来ないという事情があることは変わっていないのだなという実感でございますけれども、医師のその月の診療予定というのは、カレンダーで1か月前には非常勤医師というふうな枠で病院では公表されておりますが、どの医師が派遣されてくるのかということは、いつも何日前ぐらいに決定しているのでしょうか。

○管理課長 管理課の富樫でございます。ただいまの江口委員の御質問にお答えさせていただきますが、概ね先方の医局から、前の月の上旬から中旬ぐらいにファクス、メール等により御連絡をいただきまして、翌月の予定を作成しているという状況でございます。以上です。

○江口委員 はい。最後の質問でありますけれども、そうしますと、航空券の購入にあたって、前月の上旬中旬に分かるということは、例えばANAでいくとスーパーバリューの28ですとかお安い航空券もありまして、インターネットで見たとこ、正規の料金としては2万8,000円前後かと思っておりますけれども、こういったものを使うと半分以下、1万2,000円とか、あともっと安いのでいけば、もっと早くに分かっていけば7,000円台で購入することができるようになっておりまして、この医師の航空券というのもの、なるべくこういった格安のものを用意するような形で運用されているのでしょうか。

○管理課長 管理課の富樫です。江口委員の御質問にお答え申し上げます。医師の航空機につきましては、先方医師個人もしくは先方の大学の医局にて手配をしている状況でございます。業務の都合上、急に医師が変わるですとか、ANAの2便から3便に変更するですとか、また最近ではHACでお帰りの予定の先生が、業務の都合上3便に変えるとか、ANAの3便で戻るとか、そういった状況もございますので、変更が可能なフレックスの航空券で手配をいただいているという状況でございます。なので経費は若干かさみますが、業務の診療上、やむを得ない部分かなというところで考えているところです。以上です。

○江口委員 いいですか。じゃあ1つだけ。ただいまの答弁でフレックスのチケットということでしたけれども、若干もう少しお安いもので、ANAであればビジネス切符というものがありまして、こちらについては2路線、同じ路線を2回乗ってもいいですし、往復で利用してもいいものですが、変更も自由にできるというものですので、なるべくそういった、少しでもお安いものを先生たちにも協力をしていただけると良いかと思っておりますので、こういった部分の研究をしていただきたいと思います。はい、すみません。意見で終わってしまいました。

以下は質疑なし

- ・一般会計予算からの質問